

## II 本市の学力向上に係る取組の成果と課題

### 1 本市児童生徒の学力の分析と成果・課題

室蘭市では、2007（平成19）年度より開始された全国学力・学習状況調査に加えて2009（平成21）年度から独自に標準学力調査を行い、児童生徒の学力分析を行ってきました。

また、2011（平成23）年度には「室蘭市学力向上基本計画」、2014（平成26）年度からは「第2期室蘭市学力向上基本計画」を策定し、各学校と教育委員会、室蘭市教育研究所との連携による学力向上の取組を行ってきました。

二つの学力調査による経年比較の結果※資料1参照や、2017（平成29）年度の標準学力調査では中学校2年生が実施した全ての教科において、全国平均値を上回ったこと等※資料2参照により、これまでの取組に一定の成果があったものと分析しています。

しかし、その他の実施学年においては平均値が全国を下回る状況もみられること※資料2参照、年度によりばらつきがあり学校は固定化されていませんが、全国平均値よりも高い学校から低い学校までの差が大きいこと、特に算数・数学においては学力層が三つ以上に分散している傾向を改善することなど課題もみられます。

これらの課題を踏まえ、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点からも、今後は学力下位層の児童生徒への適切なフォローアップを行い、室蘭市の学力を全体的にボトムアップしていく必要があります。

#### <資料1 室蘭市における同一児童生徒による経年変化>

##### 【室蘭市標準学力調査】

小5 (H23) → 中2 (H26)    小5 (H24) → 中2 (H27)    小5 (H25) → 中2 (H28)    小5 (H26) → 中2 (H29)

	国語		算数・数学			国語		算数・数学			国語		算数・数学						
	H23	H26	H23	H26		H24	H27	H24	H27		H25	H28	H25	H28	H26	H29			
かなり高い					かなり高い					かなり高い					かなり高い				
高い					高い					高い					高い				
やや高い					やや高い					やや高い					やや高い				
ほぼ同程度(上位)				●	ほぼ同程度(上位)					ほぼ同程度(上位)				●	ほぼ同程度(上位)				●
同程度					同程度				●	同程度				●	同程度		●		●
ほぼ同程度(下位)					ほぼ同程度(下位)					ほぼ同程度(下位)	○	●			ほぼ同程度(下位)	○			
やや低い	○	●			やや低い		●			やや低い					やや低い				
低い					低い	○				低い		○			低い		○		
かなり低い			○		かなり低い			○		かなり低い					かなり低い				

※右にカッピングポイントを示しています。全国平均値を0とした場合の上位・下位それぞれ4段階の区分で、全体では9段階で示しています。  
 ※赤い太枠内は全国水準値内に位置することを示しています。  
 ※○は全国平均値と比較した室蘭市の立ち位置です。  
 ※標準学力調査は、全道の平均値を公表していません。

かなり高い	+7p以上
高い	+5p以上+7p未満
やや高い	+3p以上+5p未満
ほぼ同程度(上位)	+1p以上+3p未満
同程度	+1p未満
ほぼ同程度(下位)	-1p以下-3p未満
やや低い	-3p以下-5p未満
低い	-5p以下-7p未満
かなり低い	-7p以下

- ◇全体的に学力は向上傾向にあり、表中の矢印の通り特に算数・数学において顕著に表れています。
- ◇2017（H29）年の中学校においては、国語・数学共に全国平均を上回っています。
- ◆小学校の算数については全国水準に達していません、小4以下の算数において基礎学力の定着に課題がみられます。

【全国学力・学習状況調査】

小6 (H24) → 中3 (H27)

	国A		国B		算・数A		算・数B	
	H24	H27	H24	H27	H24	H27	H24	H27
かなり高い								
高い								
やや高い								
ほぼ同程度(上位)								
同程度	☆		☆					
ほぼ同程度(下位)		●★		●★	☆	★	☆	
やや低い	○		○			●		★
低い					○		○	●
かなり低い								

小6 (H25) → 中3 (H28)

	国A		国B		算・数A		算・数B	
	H25	H28	H25	H28	H25	H28	H25	H28
かなり高い								
高い								
やや高い								
ほぼ同程度(上位)								
同程度	☆					★	☆	
ほぼ同程度(下位)	○	●★	☆	●★	☆	●		●★
やや低い		○					○	
低い					○			
かなり低い								

小6 (H26) → 中3 (H29)

	国A		国B		算・数A		算・数B	
	H26	H29	H26	H29	H26	H29	H26	H29
かなり高い								
高い								
やや高い								
ほぼ同程度(上位)	☆		☆					
同程度	○	●★	○		☆		☆	★
ほぼ同程度(下位)				●★	○	●★	○	●
やや低い								
低い								
かなり低い								

※カッティングポイント・赤い太枠の扱いは、標準学力調査と同様です。

※○は全国、☆は全道の平均値と比較した室蘭市の立ち位置です。

※2011(H23)年については、全国平均値との比較ができないため掲載していません。

※2017(H29)年の室蘭市のデータについては、悪天候のため解答公表後に実施しているため参考データとして取り扱っています。

◇全国学力・学習状況調査と標準学力調査の出題傾向は異なるため一概には言えませんが、標準学力調査で明らかになった課題(特に算数)を改善した小6段階でのレベルを概ね維持向上させて、9年間の義務教育を終えられています。

◇全ての学年教科において、最終的に全国水準を維持しています。

◆全道の平均値と比較すると下回る教科が多くなっています。

<資料2 室蘭市における学校分布の状況>

【室蘭市標準学力調査】

2014 H26

	小学校5年生		中学校2年生		
	国語	算数	国語	数学	
かなり高い	1	1		1	
高い					
やや高い	1			1	
ほぼ同程度(上位)	3	1	1	1	
同程度	2	1		2	全国平均
ほぼ同程度(下位)	3	4		2	
やや低い	3	2	1	1	
低い	2	1			
かなり低い	3	8	3	1	
	18	18	7	7	

2015 H27

	小学校5年生		中学校2年生		
	国語	算数	国語	数学	
かなり高い					
高い					
やや高い	1				
ほぼ同程度(上位)	1	1		3	
同程度	4			1	全国平均
ほぼ同程度(下位)	2	1	3	1	
やや低い	3	3	2		
低い	1			1	
かなり低い	4	11	2	1	
	16	16	7	7	

2016 H28

	小学校5年生		中学校2年生		
	国語	算数	国語	数学	
かなり高い	1				
高い	2	1		1	
やや高い		2		1	
ほぼ同程度(上位)	2		1	2	
同程度		3	1	1	全国平均
ほぼ同程度(下位)	2	1	3	1	
やや低い	1		1	1	
低い	2	2	1		
かなり低い	5	6			
	15	15	7	7	

2017 H29

	小学校5年生		中学校2年生		
	国語	算数	国語	数学	
かなり高い	1	1		1	
高い	3				
やや高い		2	1	2	
ほぼ同程度(上位)	1	1	2	2	
同程度	2		1	1	全国平均
ほぼ同程度(下位)	1	2	1	1	
やや低い	2		2		
低い		1			
かなり低い	5	8			
	15	15	7	7	

※カッピングポイント・赤い太枠の扱いは、同一児童生徒による経年変化と同様です。  
 ※黄色枠は全国平均値と比較した室蘭市の立ち位置です。  
 ※表中の数字は学校数を表しています。

- ◇中学校においては、全て全国水準に到達し2017（H29）年では全国平均を上回っています。
- ◇中学校においては、学校間の差が少なくなってきました。
- ◆小学校においては、全国水準に到達しない学校の割合に変化がありません。
- ◆小学校においては、学校間の差が解消されていません。

【全国学力・学習状況調査】

2014 H26	小学校				中学校				全国平均
	国A	国B	算A	算B	国A	国B	数A	数B	
かなり高い	2	2	1	1					
高い	1	2	0	1					
やや高い	2	1	3	1	1	1		1	
（ほぼ同程度(上位)	3	1	1	1	3	2	1	2	
同程度	3	3	1	2	1		2		
（ほぼ同程度(下位)	2	1	3	4	1		3	1	
やや低い	1	1	1	1	1	2	0	2	
低い	1	2	4	2		2	1		
かなり低い	3	5	4	5				1	
	18	18	18	18	7	7	7	7	

2015 H27	小学校				中学校				全国平均
	国A	国B	算A	算B	国A	国B	数A	数B	
かなり高い	2	3	1	1					
高い	1			2					
やや高い			2	1	1	1	1	1	
（ほぼ同程度(上位)		1	2			1			
同程度	1	3	1	2	2	1			
（ほぼ同程度(下位)	3	3	2	3				1	
やや低い	3	1	5	2	2	2	1	1	
低い	4	2	1	2	1		1	1	
かなり低い	2	3	3	4	1	2	3	4	
	16	16	16	16	7	7	7	7	

2016 H28	小学校				中学校				全国平均
	国A	国B	算A	算B	国A	国B	数A	数B	
かなり高い	2	1	1						
高い			1	1					
やや高い		2				1			
（ほぼ同程度(上位)	3	1	2	1			2		
同程度	2	2	4	1	2		1	2	
（ほぼ同程度(下位)	1	3	3	3	3	3	2	2	
やや低い	2	1		4	2	3	1	2	
低い	1	1	2	1			1		
かなり低い	4	4	2	4				1	
	15	15	15	15	7	7	7	7	

2017 H29	小学校				中学校				全国平均
	国A	国B	算A	算B	国A	国B	数A	数B	
かなり高い	3	2	2	3					
高い	1	1	1	1					
やや高い	1	2					1	1	
（ほぼ同程度(上位)	1	1	1				1	2	1
同程度	3	1	2	3	2	1	1	1	
（ほぼ同程度(下位)	1	2			1	2	1	2	
やや低い	4	3	3	4	2	2	1	2	
低い			2	2					
かなり低い	1	3	4	2		1	1	1	
	15	15	15	15	7	7	7	7	

※表の見方等は標準学力調査と同様です。

- ◇小学校においては国語で、中学校においては国語・数学共に全国水準に到達する学校が増えています。
- ◇中学校においては、概ね全国水準を維持しています。
- ◆小学校においては、学校間の差が解消されていません。

<資料3 室蘭市児童生徒の学力の課題>

（さらにボトムアップを図りたい領域）

- ・小5国語「書くこと」
- ・小5算数「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」
- ・中2国語「書くこと」
- ・中2数学「資料の活用」
- ・小6国語「書くこと」
- ・小6算数「図形」「数量関係」
- ・中3国語「書くこと」
- ・中3数学「図形」「資料の活用」



- 言語活動等の充実を図り、「書く力」の育成を継続する必要があります。
- 個の実態に応じたフォローアップを図り、基礎基本を定着させる必要があります。
- 学習環境の整備を進め一人一人が学習に向き合える支援態勢を整える必要があります。

## 2 第2期室蘭市学力向上基本計画の点検・評価

第2期室蘭市学力向上基本計画を、市内各校の自己評価を基に経年変化で点検・評価しますと下記の通りになります<sup>※資料4参照</sup>。2014（平成26）年度当初に比べて大きく改善されている項目については、

- 項目2 …保護者や地域の期待や要望等の実態の把握
- 項目9 …授業改善を図るためのICT活用の推進
- 項目10 …全教員が相互研鑽<sup>さん</sup>のための授業公開の実施
- 項目11 …「わかる喜び」「できる楽しさ」を実感できる授業や教材の研究・開発
- 項目15 …学校における児童生徒の学習規律の徹底
- 項目16 …複数の教師、異校種間の教師が、協働・連携して子どもを指導・評価する体制の構築
- 項目21 …掲示物の工夫
- 項目29 …保護者に対して、児童生徒の実態や学力向上の成果や課題、今後の取組等について丁寧に説明

また、課題の見られる項目については、

- 項目14 …行事の精選、会議の効率化等による子どもと向き合う時間の確保
- 項目19 …家庭学習の手引きを作成するなどして、保護者の積極的な協力を得る啓発活動の充実

が、上げられます。

### 成果

- 市内各校においてPDCAサイクルを確立した取組が推進され、教育課程の不断の見直しが行われています。
- 中学校区が一体となって学習を支える学習規律の徹底や生活習慣の確立等、義務教育9年間を見通した取組を進めています。
- 校内研修や授業公開等を通して、授業改善への取組が学校全体で共有されています。
- ICT機器の活用等により子どもたちの学習意欲を喚起する等、日常的な授業改善が進められています。

### 課題

- 家庭との連携による学習・生活習慣の確立は、今後も粘り強く推進していく必要があります。



＜資料4 (参考) 第2期室蘭市学力向上基本計画点検評価一覧表 元データ＞

段階	項目	内容	M.A.P.	点検評価		
				A	B	C
R	実態把握	1 児童生徒の学力状況、意識・行動等の実態の把握(学力諸調査等の客観的なデータ、学年間・異校種間等の引継ぎ資料等)	⑤			
		2 保護者や地域の期待や要望等の実態の把握	④、⑤			
P	課題設定・焦点化	3 学力諸調査等の結果や過年度の課題等を踏まえた教育課題の設定。取り組むべき課題の優先順位付け、課題の明確化・焦点化。	①～③			
	目標設定	4 育てたい学力、児童生徒像を具体的な取組レベルで構想	①～③			
		5 学校としての学力向上目標を具体的な目標指標として設定	①～③			
	学力向上計画の策定	6 学力向上目標を達成するための具体的な取組計画の立案(SW1Hや目標達成期限の明確化等)	①～③			
		7 学習指導要領の確実な定着を図るための指導と評価計画の改善(観点別評価、基礎・基本の確実な習得と活用力の育成、言語活動等充実等)	①、②、③			
	D	指導方法の工夫・改善	8 個に応じたきめ細かい指導を行うための指導体制の確立	②、③		
9 授業改善を図るためのICT活用の推進(実物投影機、デジタル教材、大型テレビ、電子黒板等の活用)			②、③、⑦			
校内研修の充実		10 全教員が相互研さんのための授業公開の実施	②、③			
		11 「わかる喜び」、「できる楽しさ」を実感できる授業や教材の研究・開発(授業研究の積極的な実施、日常の授業改善・OJT、先進校視察の奨励等)	②、③			
組織運営		12 学校全体の学力向上への取組を協議・推進する組織の構築	④			
		13 保護者や地域住民等の学習支援に係る連携・協力依頼	⑤			
		14 行事の精選、会議の効率化等による子どもと向き合う時間の確保	①～④			
教師間の連携・協働		15 学校における児童生徒の学習規律の徹底(話し方、聞き方、発表のし方、授業準備、挨拶等)	③、④			
		16 複数の教師、異校種間の教師が、協働・連携して子どもを指導・評価する体制の構築(学級間・学年間・異校種間の連携強化)	①、②、⑤			
		17 優れた教材や指導案を教師間で共有したり、改善したりする工夫	②			
家庭学習支援		18 朝学習や宿題等を通して、家庭における学習習慣の定着を図る取組の実施	④、⑤			
		19 家庭学習の手引きを作成するなどして、保護者の積極的な協力を得る啓発活動の充実	⑥			
学習環境の整備		20 整理整頓による落ち着いた学習環境の整備	⑦			
		21 掲示物の工夫(学習の見通し・振り返り・定着を図る掲示物、学級目標、学習課題等)	②、⑦			
C	豊かな人間関係の構築	22 全教育活動において、各目標達成の手段として(また、目標のひとつとして)他者を尊重しながら、協同して取組を行ったり、互いに高め合ったりする活動の組織的推進	③			
	成果の検証	23 各種学力調査や客観的な指標と方法に基づいて、学力向上の取組を検証。成果と課題の見極めと結果分析	①～③			
	授業評価	24 児童生徒の授業評価、授業に関する保護者アンケート等の実施	①			
	新たな課題の設定	25 学力向上プランの取組検証とその成果と課題を踏まえた次年度に向けての教育課題の洗い出しと焦点化	①～③			
A	補充指導	26 定着率の低い学習内容の補充指導の充実(チャレンジテストの活用、放課後や長期休業中の補充学習の実施等)	④			
	授業改善	27 学力向上プランの取組検証とその成果と課題を踏まえた、授業や教材、カリキュラムの改善	①、②、⑤			
	情報の引継ぎ	28 児童生徒の成長記録や今後の課題等を新旧の学年や小・中学校間での引継ぎ徹底	⑤			
	説明責任	29 保護者に対して、児童生徒の実態や学力向上の成果や課題、今後の取組等について丁寧に説明	④、⑤			